

## 本格的な農作業のスタート

今号は開始から丸15年が経過したことを示す第180号となりました。おかげさまで今日まで発行が続けられてきたことに感謝申し上げます。これからもご愛読よろしくお願いたします。



圃場の中では直進させるために細かい調整が必要だ

春の農作業が本格的に始まりました。冬の間も様々な作業がありますが、いよいよ昨秋から休ませていた圃場の耕耘が始まりました。

麦が植えつけられているところは、良い麦になるように手入れが欠かせませんが、それ以外の部分はトラクターで生えている草も一緒に耕耘します。地域の標準的な圃場30アールをきれいに耕耘すると約1時間半が必要だとのことです。



出来上がった畔

作業はできません。オペレーターに尋ねると眠気との戦いもあるとのこと、それは想像ができますね。

おなじところを何度も作業しても時間がかかるだけなので、いかに効率よく回るか、それぞれが考えながら作業をします。

それぞれの圃場に、どこから入ってどう出るか、タイヤの跡が残ったら、それは無駄な走行があったこととなります。どう回って、どこから出るか、考えながらの作業です。

それとは別に圃場の落水側の畔を成形する作業も始まっています。冬の寒い時期に畔部の草刈りを共同作業で実施しました。畔ぬりには、そこに長い草があると成形した畔が崩れやすくなってしまうという欠点があります。今回は、この畔ぬりの効果を上げるためでもありました。

いよいよ水田の準備など連続して作業が行われます。ご理解ご協力よろしくお願いたします。

### 頑張る麦の穂に驚き

1月に除草清掃をした西の池農道。アスファルトのわずかな隙間から、麦が芽を出し穂をつけているではありませんか。もしもあの時に芽を出していたなら、刈り取られたに違いありません。

ん。しかし生き延びていたのですね。植物の生きる力に感心させられます

**お知らせ**  
5月1日(日) 8時より  
落水路の泥上げ  
5月8日(日) 8時より  
地域内水路清掃



立派な麦の穂が美濃っている

# 自治会総会で全ての議案が承認



審議が終了、参加者全員で後片付け

4月17日、令和4年度八方原自治会の総会が行われました。自治会正会員65名の内、56名（委任状提出含む）の参加となりました。

令和3年度の事業については多くの事業がコロナ禍のためにできないままになり、地域内の交流機会も失われたままになってしまいました。しかしながら、共同作業などは予定通り行われ、市から受託事業についても予定通り実施できました。

令和4年度についても「地域の融和」

を第一に掲げ原田哲夫自治会長を中心に「やるからにはたのしく」をモットーに進むことで了解されました。

また3月総会で決まった役員の中で会計役の原田真澄さんが、体調不良を理由に辞退を申し出られ、執行部では急遽原田穂裕さんをお願いすることになったと報告がありました。

2班に石綿さんご一家が加わりました。石綿さんは「ビレッジハウス小郡」（元雇用促進住宅）におられましたがこの度入居されました。

また6班の町田さんが、工場のある4班の方に住まいを移されることになったことも報告されました。

# 市に要望書を提出

先月お知らせした八方原防災会議での市からの提案は、かなり具体的な内容でした。出席者からは疑問点や質問はありませんでしたが、市では今回の浸水対策について地元の方々の意見を聞きたいということでした。

その後、いろいろな場所や場面でお話を頂きましたので、市の担当課の方に伝えました。

最下流のフラップゲートの改良、九田川の沈砂池の浚渫と水路壁の改修、揚水ポンプ小屋の保全、東側斜面の土砂崩落対策などが主なものです。

# 農道沿い配水路の部分改修工事が進行中

先般お伝えしました、配水路の改良工事が始まりました。これは農事組合

人が、市の担当課と話し合って事業が行われることになったものです。

農道と市道に並行する配水路は8本あります。そのうち6本は農道の下を

走る「暗渠」となっています。そのうちの1本は蓋つきの開水路ですが残りの5本は丸いヒューム管が埋められています。

そのため水流がそこで滞りがちになり、農業者を悩ましていまし

た。工事はそのヒューム管を撤去して、新たなボックス型の強固なコンクリート製品を据え付け、農道の高さで傾き、水路面の傾きを入念に調整して、工事が行われていました。

未経験者からするとなんととも大げさな構造物が据え付けられるように見えました。説明を聞くとなるほど納得させられました。

今までどうして一か所だけが開水路になっていたのか理由は分かりませんが、今後はほぼ同一の条件となるでしょう。



▲大きく掘り下げて高さの調整

▼一つが500kgあるというボックス

